

試験研究成果普及情報

部門	資源管理・増養殖	対象	研究
課題名：アワビ増殖礁に用いるコンクリート製平板の洗浄効果			
〔要約〕アワビの増殖礁として用いているコンクリート製平板上の付着物を除去する「洗浄」を行うと、アワビの餌料となるアラメ・カジメが平板上に着生し、平板洗浄は効果的である。また、洗浄の際に平板上に付着する無節サンゴモの有無が海藻の着生に及ぼす影響は小さい。			
キーワード アワビ、アラメ、カジメ、着生基質、藻場、無節サンゴモ			
実施機関名	主 査	水産総合研究センター	資源研究室
	協力機関	-	
実施期間	2020 年度		

〔目的及び背景〕

千葉県におけるアワビ類の漁獲量減少要因の一つに餌料環境の悪化が挙げられる。これに対し、アワビの主餌料であるアラメ・カジメの成熟期に既設の平板やブロック礁の表面を洗浄することで、アワビ生息場の餌料環境の向上に貢献できる可能性がある。アラメ・カジメの着生に適した洗浄時期を明らかにするため、南房総市千倉町平磯地先において、8月、10月、12月に洗浄を行い、海藻の着生状況を比較する。また、全付着物を除去した部分（洗浄A区）と、無節サンゴモ類を除去しなかった部分（洗浄B区）におけるアラメ・カジメ及びその他海藻の着生状況を比較し、適切な洗浄方法について検討する。

〔成果内容〕

- 1 アラメ・カジメは、10月及び12月に洗浄した平板に着生する。
遊走子の放出期の中でも、配偶体の生長・成熟期に洗浄することが、着生に効果的である（表）。
- 2 アラメ・カジメは全て洗浄A区で確認され、付着物が全て除去された基質がアラメ・カジメの着生に適している。全海藻種では、洗浄A区、B区間で被度の差が無く、周辺に優占する種に関し、無節サンゴモの有無が着生に及ぼす影響は小さい。

〔留意事項〕 なし

〔普及対象地域〕 外房地域、内房地域

〔行政上の措置〕 なし

〔普及状況〕 なし

[成果の概要]

表 試験区の平板上面に確認された海藻種及び被度。- は出現なし、+は平均被度 5%未満、++は 5～25%、+++は 25～50%を示す。

洗浄時期	種類	2020/10/27	2020/12/18	2021/2/5
8月	アラメ・カジメ	-	-	-
	オオバモク	+	+	++
	マメタワラ	+	+	-
	ヨレモク	-	+	+
	ヤツマタモク	+	+	+
	ウミトラノオ	-	+	+
	ウミウチワ	+	++	+++
	フクロノリ	+	+	-
	テングサ科	+	+	++
10月	アラメ・カジメ		-	+
	オオバモク		++	++
	ウミウチワ	ND	+	++
	フクロノリ		+	+
	テングサ科		+	+
12月	アラメ・カジメ			+
	オオバモク			+
	ワカメ			+
	ウミウチワ		ND	+
	フクロノリ			+
	テングサ科			+

[発表及び関連文献]

アワビ造成漁場におけるコンクリート平板の洗浄手法の検討、令和3年度増養殖関係研究開発推進会議磯根資源・藻場研究会、口頭発表

[その他] なし